

に、初の高級賃貸住宅を東京都目黒区にオープン。今回、社会人をコアターゲットとするシェアハウスをオープンした。今後は、比率が増える高齢者向けの住宅も検討していきたいとする。JR東日本の所有する不動産の有効活用を中心に、運営する賃貸住宅の物件数を拡大していく。

説明会開催

加盟の260社が参加
ピタットハウスに加盟する約260社約4500人が参加した。
同説明会では、今後の方針について説明を行った。早川哲社長は「加盟する各社の売り上げをよりアップさせられるよう

層基準で建てられてきたため、今回の補助金活用が進むこと期待したい」と話す。東京都は、セーフテット住宅に関わる改正を受けて2019年度から、補助メニューを用意してきた。1月には、「東京（メール住宅）」と独立愛称を付け、周知回、新たな補助メニューの追加と既存のメニューの内容を21年度末時点で供給される専宅は642戸。30までに、35000供給を目指す。

▲ピタットハウスネットワークの早川社長が登壇した



う、提供するシステム強化などの設備投資を進める」と話した。月1回のペースで新サービスの追加を目指すという。
エンドユーザーへのアンケート調査で「不満に

感じたこと」の約50%がスタッフの対応の悪さだったことを指摘し、社員教育の徹底を加盟店に呼びかけた。
そのほか、店舗業績や接客コンテストの結果などを精査し、上位店舗などを表彰する授与式を開催。日建企画(神奈川県横浜市)の青葉台店など5店舗が最優秀賞を獲得した。
その後、加盟企業4社が登壇し、人材教育や各社の事業方針について意見を交わすパネルディスカッションを行った。
特別講演では元プロ野球監督の工藤公康氏が登壇。最後は懇親会で本部や加盟店同士の親交を深めた。
ピタットハウスの加盟店舗数は4月1日時点で、契約ベースで656店舗となった。

アニスピホールディングス ペット共生型グループホーム

23年に200拠点突破見込む



アニスピホールディングス(東京都千代田区) 藤田英明会長(47)

ペット共生型障がい者グループホームを展開するアニスピホールディングス(東京都千代田区)は4月、新たに36拠点をオープンしたと発表した。累計1294拠点となり、2023年中には2000拠点突破を見込む。

同社が展開するグループホームの名称は「わおん」と「にゃおん」。18年5月からスタートし、毎年平均350拠点をオープンしてきた。
最大の特徴は犬や猫を施設内で飼育できることだ。動物保護団体と提携しており、基本的に保護犬を1匹、もしくは保護猫を2匹飼育する。入居者が連れてくる場合や、入居後に飼育を始める場合もある。

▲同社のペット共生型グループホーム。写っているのは実際に入居者と飼育されている犬



同グループホームは戸建ての空き家を購入、もしくは借り上げし、改装のうえで利用している。家賃は7万〜10万円。このほか、国からの訓練給付金が入居者1人あたり20万〜25万円支給され、表面利回りは15〜20%。1戸あたりの入居者は4〜6人。15〜75歳と幅広い年齢層が入居する。どの施設でもオープン4〜5カ月で入居率は約80%になるという。

同社と加盟事業者で事業収益を分配するレベルニユーシェア方式でも展開しており、直営施設は1294拠点中72拠点。約600法人が加盟する。
直営施設は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、大阪府で展開。23年からは首都圏以外にも広がっている。
藤田英明会長は「以前はグループホームへの理解が進んでおらず、展開が難しかった。近年はオーナーからの理解も得やすくなり、需要もありスピーディーに展開できている。23年で2000拠点を達成できると見込んでいる。うち140拠点は直営施設」とコメントした。

既存物件にも 宅内工事案内も無期限で実施

アフターサポート
満足度
No.1

入居者満足度の
高いサービス
No.1

日本マーケティングリサーチ機構調べ 2021年7月期 満足度調査

入居者無料 インターネット

あばねっと
集合住宅向けインターネットサービス

人気の宅配BOXや監視カメラなど、トータルで提案いたします。

全国の拠点のお問い合わせは下記QRコードから

10,000棟を超える物件に導入済

株式会社 キッズウェイ
<https://www.kids-way.ne.jp>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目33番8号NBF池袋タワー8階
TEL:03-5950-6601 FAX:03-5950-6602